

先生各位

報告書記載内容変更のご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、下記の報告書におきまして、記載内容を変更させていただきますのでご案内申し上げます。今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

《変更日》 令和3年4月6日（火）報告分より

《変更内容》 詳細は別添参照

対象報告書名	変更内容	変更後	
定型	追加	間接ビリルビン eGFR non-HDL コレステロール	
	削除	尿アミラーゼ ASO RF 定量 アンチトロンビン活性	血中 FDP 虫卵 集卵
人体図	追加	eGFR non-HDL コレステロール	
	削除	ASO	
	臨床的意義	監修の変更による全体的な見直し	
患者用定型	項目の追加	eGFR non-HDL コレステロール	
	項目の削除	LDL/HDL 比 無機リン	ASO RF 定量
	臨床的意義	監修の変更による全体的な見直し	

※ 項目の追加・削除により印字位置を変更致します。

※ その他の記載内容に変更はございません。

《変更理由》 報告書見直しのため

別添：新様式報告書

● 定型報告書 (は追加項目)

検査報告書<生化学>			検査報告書<免疫・血液>			検査報告書<尿・糞便>			検査報告書<指定・フリー>			
▼ FALCO			▼ FALCO			▼ FALCO			▼ FALCO			
様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	
受付日	受付日	受付日	受付日	受付日	受付日	受付日	受付日	受付日	受付日	受付日	受付日	
採取日	採取日	採取日	採取日	採取日	採取日	採取日	採取日	採取日	採取日	採取日	採取日	
報告日	報告日	報告日	報告日	報告日	報告日	報告日	報告日	報告日	報告日	報告日	報告日	
検査項目	基準値	検査結果	検査項目	基準値	検査結果	検査項目	基準値	検査結果	検査項目	基準値	単位	検査結果
総ビリルビン	T-Bil		CRP定性	CRP		尿一般検査		尿一般検査				
直接ビリルビン	D-Bil		CRP定量	CRP		蛋白定性		蛋白				
総蛋白	T-P					糖定性		糖				
アルブミン	Alb					ウロビリノーゲン		Uro				
A/G比	A/G					ビリルビン		Bil				
AST(GOT)	GOT		白血球数	WBC		pH		pH				
ALT(GPT)	GPT		赤血球数	RBC		ケトン体		ケトン体				
ALP IFCC	ALP		ヘモグロビン量	Hb		潜血		潜血				
LD IFCC	LD		ヘマトクリット値	Ht		比重		比重				
LAP	LAP		尿 MCV	MCV		尿蛋白定量		尿蛋白				
γ-GT(γ-GTP)	γ-GTP		尿 MCH	MCH		(管尿)		糖量				
コリンエステラーゼ	ChE		尿 MCHC	MCHC		尿糖定量		糖量				
アミラーゼ	AMY		血小板数	Plt		(管尿)		糖量				
CK(CPK)	CK		網状赤血球数	Reti		尿沈渣		尿沈渣				
総コレステロール	TC		好中球	Neut		赤血球		RBC				
LDLコレステロール	LDL-c		好酸球	Eos		白血球		WBC				
HDLコレステロール	HDL-c		好塩基球	Baso		扁平上皮細胞		扁平				
LDL/HDL比	LDL/HDL-c		リンパ球	Lymph								
non-HDLコレステロール	non-HDL-c		単球	Mono								
中性脂肪(TG)	TG		球	Band								
ナトリウム	Na		棒状核球	Seg								
クロール	Cl		類									
カリウム	K											
カルシウム	Ca		プロトロンビン値	PT								
マグネシウム	Mg		活性値	PT(N)								
無機リン	IP		INR	PT(INR)								
血清鉄	Fe		APTT	APTT		糞便検査		糞便検査				
TIBC	TIBC		フィブリノーゲン	Fib		便ヘモグロビン		便ヘ				
UIBC	UIBC		D-Dダイマー定量	D-D		2日目		2日目				
尿酸値	BUN					3日目		3日目				
クレアチニン	CRE											
eGFR	eGFR											
尿酸	UA											
グルコース(血糖)	GLU											
HbA1c NGSP	HbA1c											

ファルコバイオシステムズ

責任者

ファルコバイオシステムズ

責任者

ファルコバイオシステムズ

責任者

ファルコバイオシステムズ

責任者

株式会社ファルコバイオシステムズ

株式会社ファルコバイオシステムズ

株式会社ファルコバイオシステムズ

株式会社ファルコバイオシステムズ

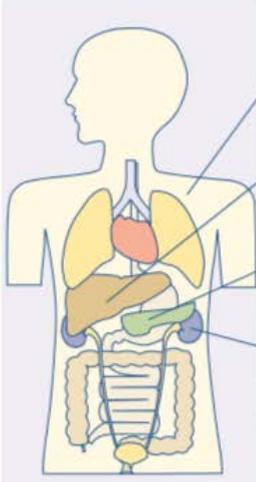
81.04.08

● 人体図報告書 (は追加項目)

検査報告書



検査項目	今回値		前回値		前々回値		臨床的意義
	値	単位	値	単位	値	単位	
総蛋白							栄養状態や腎機能、腎臓病などで病状の程度を反映し、減少します。
アルブミン							栄養不良、肝臓病、ネフローゼ症候群などで病状を反映し、減少する蛋白成分です。
A/G比							アルブミンとグロブリンの比。肝臓病や腎臓病、慢性的な炎症状態などで減少します。
総コレステロール							脂質代謝異常を反映します。高い場合は動脈硬化の危険因子になります。
LDLコレステロール							悪玉コレステロールとも呼ばれ、高い場合は動脈硬化の危険因子になります。
HDLコレステロール							善玉コレステロールとも呼ばれ、低い場合は動脈硬化の危険因子になります。
non-HDLコレステロール							HDLコレステロール以外を悪玉コレステロールとした動脈硬化の指標です。
Triglyceride							中性脂肪や遊離脂肪酸や糖質の指標となります。食事の直後で増加します。
ナトリウム							血中濃度は脱水で増加、水分の過剰摂取や下痢・嘔吐での持続で減少します。
クロール							過剰イオン濃度です。血中の異常やナトリウム代謝障害を示し、異常値を示します。
カルシウム							筋肉の収縮や神経伝達に關するミネラルです。腎不全などで増加します。
CK (CPK)							骨格筋や心筋の壊死や炎症に關する指標で、異常の大きさを反映する指標です。
総ビリルビン							赤血球の分解産物で黄疸の状態を反映します。
直接ビリルビン							急性肝炎や胆汁うっ滞など黄疸の傾向状態を増加します。
AST (GOT)							肝臓や心筋、骨格筋、赤血球などに含まれる酵素で、障害の程度を反映し増加します。
ALT (GPT)							主に肝臓に多く含まれている酵素で、肝炎ではASTより高値傾向を示します。
ALP (IFCC)							胆汁うっ滞が伴う肝臓病、骨疾患や妊娠などで増加する酵素です。
LAP							肝臓病や胆汁うっ滞など黄疸の傾向状態を増加する酵素です。
γ-GT (γ-GTP)							アルコール性肝臓病や胆道疾患などの病状を反映する酵素です。
コリンエステラーゼ							肝臓機能を反映し、肝臓病で減少、ネフローゼ症候群では増加します。
アミラーゼ							ブドウ糖を分解する酵素です。膵炎や唾液腺の炎症で増加します。
グルコース (血糖)							血糖値と同様に運動時の値に用いる基本的な検査です。食事の影響で変動します。
HbA1c NGSP							過去1〜2か月の平均的な血糖値を反映します。
尿酸値							蛋白代謝産物で、腎機能の低下などで増加します。
クレアチニン							筋肉由来のクレアチン代謝産物で、腎機能の低下で増加します。
eGFR							糸球体へ到達する能力を見る指標です。低値の場合は、腎機能の低下を疑います。
CRP 定性							感染症や組織損傷に伴い、血中に増加する蛋白の一つです。
CRP 定量							感染症や組織損傷で、血中の濃度は増加し、炎症性疾患の診断に用いられます。
尿酸							尿酸が尿酸塩で、血中の濃度は増加し、痛風や尿酸結石の原因になります。
LD IFCC							多くの臓器に含まれる酵素で、貧血や白血球、肝臓病などで増加します。
白血球数							炎症で一過性や慢性に、白血球などの血液成分は高値が持続します。
赤血球数							貧血や多血症などの診断に用いられる基本的な検査です。
ヘモグロビン量							貧血の有無、貧血の程度を判断する指標です。
ヘマトクリット値							血液中の赤血球成分が占める体積率で、貧血の程度を判断する指標です。
血小板数							血液の止血機能に關し、その減少は出血傾向、増加は血栓形成の危険因子になります。
血清鉄							貧血の原因を判断するための基本的な検査です。



医師からのアドバイス

検査実施日 月 日

検査でわかるあなたの健康状態

↓
全体的な見直し

上記のとおりで報告致します。 医師 関野 英樹
 ファルコバイオシステムズ
 責任者
 株式会社ファルコバイオシステムズ

● 患者用定型報告書（裏面）臨床的意義の全体的な見直し

* 検査項目のご案内 *

検査項目	臨床的意義	
尿白質	尿蛋白	尿蛋白が腎臓、腎臓などで尿中の量を反映し減少します。
	アルブミン	尿蛋白、尿蛋白、α ₂ -ミクログロブリンなどで尿中の量を反映し減少する尿蛋白成分です。
	A/G比	アルブミンとグロブリンの比、尿蛋白や尿蛋白、尿蛋白の尿蛋白などで減少します。
脂質	総コレステロール	脂質代謝異常を反映します。高い場合は動脈硬化の危険因子になります。
	LDLコレステロール	悪玉コレステロールとも呼ばれ、高い場合は動脈硬化の危険因子になります。
	HDLコレステロール	善玉コレステロールとも呼ばれ、高い場合は動脈硬化の危険因子になります。
	総HDLコレステロール	HDLコレステロール以外の悪玉コレステロールとした動脈硬化の指標です。
	中性脂肪 (TG)	血液中の脂質は脂質代謝異常や尿蛋白の指標になります。食事の影響で変動します。
電解質	ナトリウム	血中濃度は尿中で尿中の水分の濃度調整や下痢、嘔吐の特徴で減少します。
	クロール	塩素イオン濃度です。血中ナトリウムやナトリウム代謝異常に伴い、変動を示します。
	カリウム	筋肉の収縮や神経伝達に重要なミネラルです。腎不全などで増加します。
	カルシウム	骨形成や骨吸収を調節するミネラルなどカルシウム代謝異常を反映します。
腎臓機能	CK (CrK)	腎臓や心臓の機能異常を反映する指標で、腎臓の大きさを反映する指標です。
	尿素窒素	血液中の分解産物で腎臓の状態を反映します。
	尿酸	尿酸は尿酸や尿酸の尿酸の尿酸の尿酸で増加します。
	AST (GOT)	肝臓や心臓、骨格筋、赤血球などに含まれる酵素で、肝臓の状態を反映します。
	ALT (GPT)	主に肝臓に多く含まれている酵素で、肝臓ではASTより高感度を示します。
	ALP (IFCC)	骨形成や骨吸収の指標、骨疾患や妊娠などで増加する酵素です。
	LAP	肝臓や骨形成や尿酸の尿酸の尿酸で増加する酵素です。
	γ-GT (γ-GTP)	アルコール性肝臓病や胆道疾患などの尿蛋白を反映する酵素です。
	コリンエステラーゼ	肝臓機能を反映します。肝臓病で減少、α ₂ -ミクログロブリンで増加します。
	尿酸	プリン体を分解する酵素です。尿酸症や尿酸の尿酸で増加します。
糖質	グルコース (血糖)	血糖値と尿中の糖質の尿蛋白に用いる基本的な検査です。食事の影響で変動します。
	HbA1c	過去1〜2か月の平均的な血糖値を反映します。
腎臓	尿酸	尿酸代謝産物で、腎臓の低下などで増加します。
	クレアチニン	筋肉由来のクレアチン代謝産物で、腎臓の低下で増加します。
	eGFR	腎臓の尿蛋白排泄率も能力を見る指標です。腎臓の低下を示します。
炎症	CRP 反応性	炎症や組織損傷に伴い、血中に増加する蛋白の一つです。
	CRP 定量	炎症や組織損傷に伴い、血中に増加する蛋白の一つです。
その他	尿酸	尿酸分解産物で、血中の尿酸は尿酸や尿酸の尿酸になります。
	LD (IFCC)	多くの臓器に含まれる酵素で、尿酸や尿酸、尿酸などで増加します。
血球	白血球数	炎症や一過性発熱、白血球などの血液疾患で、数値が変動します。
	赤血球数	貧血や多血症などの診断に用いられる基本的な検査です。
	ヘモグロビン値	貧血の有無、貧血の程度を判断する指標です。
	ヘマトクリット値	血液中の赤血球成分が占める体積率で、貧血の程度を判断する指標です。
	血小板数	血小板は止血に関与し、その減少は出血傾向、増加は血栓形成の危険因子になります。
	血球計	血球の形態を調べるための基本的な検査です。

* 健康管理のために定期的な検査をお勧めします。 監修 岡村 英彦
ファルコバイオシステムズ